

自ら学びたくなるためには どんな環境が必要なのか？

～UDの視点でできるを体験できるように～

香川大学教育学部
香川大学バリアフリー支援室
教育学部附属坂出小学校・附属幼稚園
坂井聡

ここは一発気合で頑張れるか？

- 主体的とは？
- 意欲がわからないと
 - 根性のない、意志の弱い人間だ
 - 性格的に問題があるのでは？
 - ダメな人間という烙印を
- やらないといけないとわかっているけれど、やりだせない
 - やらなければという意味もある
 - わかってもいる
 - でもできない
- 大人はできているのか？

学びたくなるために必要なもの

- 学びたくなるには理由がある
- 周囲の環境
 - 意欲が出る環境とは？
- 解釈の仕方
 - 意欲につながる解釈とは

無気力は学習の成果

- 学習性の無力感
 - 自分から動かない方が無駄なエネルギーがいらないと学習
 - 環境への適応の結果
 - 汎化しやすい
- 生まれつき無気力な子どもはいない
 - 意欲はどこへ行ったのか？
- 相対的な評価をすると
 - 本来の位置は変わらない
 - 他人以上にすることによって評価される仕組みになるということ

学びたくなる環境は

- 行動の結果がポジティブに反映される環境
 - できるかなモデル
 - 失敗で終わる環境では意欲はわかない
- 確率は同じでも
 - 自分でやった方が当たる確率が高くなる？
 - 自分でやる方が意欲的になる
 - 錯覚や幻想があれば意欲につながる
- できるようになるという考えの末路
 - 努力してもできないと
 - 自己肯定感の低下
 - 「がんばれ」といわれてももう無理
 - 自分のことを客観的に知ってしまうと無気力になる

うまくいったときの対応が重要

- 原因をどこに求めるのか
 - デートの話
 - 行動を起こす意欲がダメージを受けないような対応を
 - 運がよかったねは・・・
 - 成功場面でどこに原因を求めるのかによって意欲は左右
- うまくいったら内的要因に
- うまくいかなかったら外的要因に

うまくいくかいかないかを左右するもの

- 努力 (内的な要因)
- 能力 (内的な要因)
- 気分 (内的な要因)
- 体調 (内的な要因)
- 指導者の声掛け (外的な要因)
- 指導者の指導力 (外的な要因)
- 支援方法の工夫
- 協力 (外的な要因)
- 課題の難易度 (外的な要因)

原因によって

- 安定しているものは、期待を左右する
- 内的要因と外的要因は感情を左右する
- 原因を考えて次のステップに
 - これがあればできるでいいのでは
 - 社会に合わせるということではうまくいかない
- 統制可能なものと統制不可能なもの

主体的になるためには主観で考えてもよい

- もっと自分を客観的にというけれど
 - できない自分を客観的に見たら自分に対する期待は低下する
 - 不安定な要因に原因を求めてもよい
- ポジティブなことは安定的な要因に
- ネガティブなことは不安定な要因に

といっても主観だけでもない

- 他力本願になることがあるから
 - 他力になると、意欲がなくなる
- 期待することも重要

次への意欲は

- 能力と普段の努力
- 期待があること
- 主観で考えられること
- コストが低いこと
 - こちらが思っているコストと児童生徒の感じるコスト
- 「がんばるだけではだめ」
 - 望む結果に至るだけのがんばり
- コストを低く抑えて、がんばれそう、できそうと思うようにして、継続できる環境を整えること
- 近接目標を考えること（スモールステップで）
- 具体的な目標を少しずつステップアップ

努力ができなかった時の対応は

- 指導者の期待による
 - 期待が大きくて、努力しなかった場合
 - 期待が大きくて、努力した場合
 - 期待が小さくて、努力しなかった場合
 - 期待が小さくて、努力した場合
- 言い訳の理由
 - 自己を防衛するため
 - 心理的なダメージを最小限にしたいから
 - 「言い訳ばかりするな」の問題
 - 何とかできるように環境を修正してみる